

第45回土木学会地震工学研究発表会（2025年度）

9月1日（月）「阪神・淡路大震災30年国際ワークショップ」

時間	A会場（ハーバーホール）
9:45	Zoom会議室オープン
10:00-10:05	開会式（高橋良和 地震工学委員会委員長 挨拶）
10:10-10:50	<Special Lecture> [35min+5min] Prof. George GAZETAS (National Technical University of Athens)
10:55-11:35	<Keynote Lecture> [35min+5min] Dr. Yukio ADACHI (Hanshin Expressway Co.)
11:40-12:30	<Keynote Lecture> [45min+5min] Prof. Ioannis ANASTASOPOULOS (ETH Zurich)
	昼休み
13:50-14:30	<Myanmar Report> [40min] Prof. Hemanta HAZARIKA (Kyushu University) and Prof. Ikuo TOWHATA (Kanto Gakuin University)
14:40-15:40	A13 <English Session 1> Shuichi FUJIKURA (Utsunomiya University)
15:50-17:00	A14 <English Session 2> Xinhao HE (Tohoku University)

9月2日（火）

時間	A会場（ハーバーホール）	B会場（会議室802+803）	C会場（会議室902+903）	D会場（会議室904+905）
9:45	Zoom会議室オープン			
10:00-11:45	<パネルディスカッション> [105分] @ A会場 地震工学委員会 歴代委員長：澤田純男・目黒公郎・酒井久和・高橋良和 「あの日から30年－地震工学において変革されたことと残された課題」			
	昼休み			
13:00-14:25	A23 <地震災害の調査報告①> 井澤淳（鉄道総合技術研究所）	B23 <構造解析(振動・衝突・水圧/波圧)> 北原武嗣（関東学院大学）		D23 <津波防災> 原田賢治（静岡大学）
14:40-16:05	A24 <地震災害の調査報告②> 井上和真（立命館大学）	B24 <支承およびゴム材料> 豊岡亮洋（鉄道技術総合研究所）	C24 <土の力学・動的特性> 中井健太郎（名古屋大学）	D24 <災害情報・防災計画①> 鎌田泰子（神戸大学）
16:20-17:45	A25 <構造部材の実験的検討> 篠原聖二（阪神高速道路）	B25 <微動> 西川隼人（福井工業大学）	C25 <液状化現象> 脇中康太（熊本高等専門学校）	D25 <防災計画②・リスクマネジメント> 能島暢呂（岐阜大学）
18:15-20:15	意見交換会 @ 10階レセプションルーム（神戸市産業振興センター）			

9月3日（水）

時間	A会場（ハーバーホール）	B会場（会議室802+803）	C会場（会議室902+903）	D会場（会議室904+905）
9:15	Zoom会議室オープン			
9:30-10:55	A31 <構造・材料のモデル化手法> 服部匡洋（阪神高速先進技術研究所）	B31 <地盤震動・増幅特性> 坂井公俊（鉄道総合技術研究所）	C31 <数値解析・実験> 加藤一紀（大林組）	D31 <ライフライン防災①> 松崎裕（東京科学大学）
11:10-12:35	A32 <構造解析（橋梁）> 張広鋒（首都高速道路技術センター）	B32 <地震動評価・震源近傍の地震動> 若井淳（国土技術政策総合研究所）	C32 <地中構造物> 西岡英俊（中央大学）	D32 <ライフライン防災②> 後藤浩之（京都大学）
	昼休み			
13:45-15:10	A33 <RC橋脚・柱> 武田篤史（大林組）	B33 <地震動分析・設計地震動> 杉山佑樹（鉄道総合技術研究所）	C33 <地盤・構造物の相互作用> 佐藤清（大林組）	
15:25-16:50	A34 <構造計画および設計・性能評価> 党紀（埼玉大学）	B34 <地盤構造・地盤変動・ゾーニング> 野口竜也（鳥取大学）	C34 <地中構造物> 長谷川延広（東京電機大）	
17:00-17:05	閉会式（飛田哲男 論文集編集小委員会委員長 挨拶） @ A会場			

第45回地震工学研究発表会プログラム(A会場 9月1日・2日)

9月1日(月)

14:40-15:40	A13 <English Session 1>	座長: Shuichi FUJIKURA (Utsunomiya University)
A13- 481	Physics based (dynamic) modelling of the velocity pulses in Kobe City	Anatoly PETUKHIN (Kyoto University)
A13- 508	Spatial distribution of horizontal-to-vertical spectral ratio of microtremor in Golbasi, Turkey	Matasataka SHIGA (Nagaoka University of Technology)
A13- 425	Seismic behaviors of the first isolation bridge with spherical sliding bearings in Japan in the 2024 Noto Peninsula earthquake	Xinhao HE (Tohoku University)
A13- 563	Damage survey report on the Hualien earthquake, Taiwan, April 3, 2024	Shinichiro MORI (MORI Research Institute)

15:50-17:00	A14 <English Session 2>	座長: Xinhao HE (Tohoku University)
A14- 528	System identification of a cable-stayed bridge from multi-point strong motion records using MIMO MOESP method	Islam HAOUAS (University of Tsukuba)
A14- 487	Effect of earthquake duration on correction factor of seismic actions in seismic deformation method	Niki TANAKA (JR Central Consultants)
A14- 516	Experimental investigation of partially-drained condition in liquefiable ground	Mizuki KUNISAWA (Kansai University)
A14- 561	Application of machine learning to prediction of liquefaction and its potential assessment	Airi TADA (The University of Osaka)
A14- 412	Evaluation of seismic performance of high pressure gas equipment against large-scale earthquake	Hiroyuki KIMATA (The High Pressure Gas Safety Institute of Japan)

9月2日(火)

13:00-14:25	A23 <地震災害の調査報告①>	座長: 井澤淳(鉄道総合技術研究所)
A23- 505	動的有効応力解析に基づく2018年インドネシア・スラウェシ島地震における大規模地盤流動の誘因に関する検討	井上和真(立命館大学)
A23- 474	2024 年能登半島地震による金沢市近隣の宅地盛土被害	橋本隆雄(国土館大学)
A23- 480	令和6年能登半島地震により内灘町で発生した上水道管路の被害分析と予測手法の考察	宮本勝利(日水コン)
A23- 551	令和6年能登半島地震による能登空港の滑走路における被害と数値解析による基礎的考察	大矢陽介(港湾空港技術研究所)
A23- 553	令和6年能登半島地震における能登空港の地震動と地震応答解析による被害検証	毛利博士(港湾空港技術研究所)

14:40-16:05	A24 <地震災害の調査報告②>	座長: 井上和真(立命館大学)
A24- 428	令和6年能登半島地震による新潟市内で観測された強震動記録の簡易分析	志賀正崇(長岡技術科学大学)
A24- 473	2つの能登半島地震で生じた道路被害の検討	武藤夏歩(長岡技術科学大学)
A24- 533	受水槽被害評価のための地震動の距離減衰式 ー令和6年能登半島地震を対象とした検討ー	西川隼人(福井工業大学)
A24- 506	孤立地区の建設会社の能登半島地震時緊急対応〜輪島市町野地区の事例から〜	徳永雅彦(徳島大学)
A24- 534	輪島市における学校施設の地震被害と教育継続	中野晋(徳島大学)

16:20-17:45	A25 <構造部材の実験的検討>	座長: 篠原聖二(阪神高速道路)
A25- 426	建設用3DプリントとバサルトFRPロッドによる巻立て補強の実験的検証	山本悠人(大成建設)
A25- 439	E-アイソレーションにおける取付部を含む実大制震ダンパーシステムの動的加力実験	益川敬行(京都大学)
A25- 454	横変位摩擦ダンパーの大型振動台実験	山本一貴(首都高速道路)
A25- 469	実大動的加力試験機E-Isolationにおける高精度荷重計測技術を適用した実時間ハイブリッド実験システムの開発	上田知弥(京都大学)
A25- 484	位相遅れを考慮した時系列予測による実時間ハイブリッド実験の高精度化	津田葉涼太(京都大学)
A25- 541	複合ブレース材構造システムによるCT断面ブレース材の繰返し載荷実験	増田耀哉(名城大学)

第45回地震工学研究発表会プログラム(A会場 9月3日)

9月3日(水)

9:30-10:55	A31 <構造・材料のモデル化手法>	座長: 服部匡洋 (阪神高速先進技術研究所)
A31- 421	橋りょう・高架橋群の効率的なモデル化法の 部材非線形条件における基礎的検討	和田一範(鉄道総合技術研究所)
A31- 433	耐震設計における多自由度橋梁モデルの非線形—自由化に関する検討	植村佳大(京都大学)
A31- 458	橋りょうの地震時回転挙動に地盤・基礎が与える影響に関する解析的検討	宇田周平(鉄道総合技術研究所)
A31- 509	固有振動数の感度係数の主成分に基づくコンクリート構造物の剛性分布の同定手法の検討	羽場一基(大成建設)
A31- 540	既設上路式鋼トラス橋における対傾構交点の拘束条件が地震時挙動に及ぼす影響に関する解析的検討	中村真貴(地震工学研究開発センター)
A31- 548	軸方向筋に銅系超弾性合金を用いたコンクリートの応力-ひずみ関係	更科まなみ(宇都宮大学)

11:10-12:35	A32 <構造解析(橋梁)>	座長: 張広鋒 (首都高速道路技術センター)
A32- 457	ガス管が添架された橋梁の洗掘及び地震に対する安全性評価方法の検討	諸井優太(東京ガスネットワーク)
A32- 461	橋梁用制震ダンパー取付部の裏面補強に着目した解析的検討	澤田あおい(京都大学)
A32- 466	橋梁構造における地震時の上部構造と橋台の衝突現象に伴う応力伝達に関する研究	Chunke YANG(山口大学)
A32- 471	鋼アーチ橋の地震応答解析結果に粘性ダンパーのモデル化が与える影響	金原大樹(京都大学)
A32- 496	逆断層に起因する地盤変動がニールセン橋の橋軸方向に作用した場合における損傷挙動に関する数値解析的検討	音山樹里(東北学院大学)
A32- 556	中層梁損傷後の特性の違いによる二層式ラーメン高架橋の地震時挙動の変化に関する一考察	野口岳輝(鉄道総合技術研究所)

13:45-15:10	A33 <RC橋脚・柱>	座長: 武田篤史(大林組)
A33- 555	既設RC中空断面橋脚の破壊特性を踏まえた耐震補強シナリオの提案	後藤源太(西日本高速道路)
A33- 446	データ同化を用いたハイブリッド実験によるRC橋脚復元力の不確定性評価手法の検討	尾西宥紀(京都大学)
A33- 486	地震荷重相当の載荷履歴を複数回受けた後のRC橋脚の残存耐震性能	大越靖広(熊谷組)
A33- 513	コア部にエクスパンドメタルを有するRC橋脚の正負交番載荷実験	藤岡光(宇都宮大学)
A33- 518	拡張有限要素法を用いたCFRP補強中空RC橋脚のひび割れ進展評価	平井悠貴(京都大学)
A33- 535	複数回繰り返し載荷を受ける鉄筋コンクリート柱の残存性能に関する数値解析による一検討	京田英宏(北武コンサルタント)

15:25-16:50	A34 <構造計画および設計・性能評価>	座長: 党紀(埼玉大学)
A34- 416	防災・維持管理に向けた 橋梁通行不能時の通行コスト増分評価 —荒川沿い 12 橋梁を対象として—	竿本英貴(産業技術総合研究所)
A34- 451	強震動指標クラスタリングとTreeSHAPIによる道路橋最大応答値の支配要因の定量的評価	小林 巧(土木研究所)
A34- 453	鋼板桁橋における横荷重の分布形状の違いが荷重分担率に及ぼす影響	武田龍國(土木研究所)
A34- 476	複数回地震における橋梁・高架橋の損傷進展を考慮した所要降伏震度スペクトルによる耐震設計への応用	室野綾優美(芝浦工業大学)
A34- 536	東北地方太平洋沖地震の作用を受けた免震橋梁のシステム同定による振動特性の評価	吉田 智咲(筑波大学)
A34- 543	鉄道高架橋の部材の変形性能および耐力が地表断層変位に対する構造物の保有性能に与える影響	小野寺周(鉄道総合技術研究所)

第45回地震工学研究発表会プログラム(B会場)

9月2日(火)

13:00-14:25	B23 <構造解析(振動・衝突・水圧/波圧)>	座長: 北原武嗣(関東学院大学)
B23- 511	陸上構造物に作用する波圧のエアバッグによる低減について	有賀義明(弘前大学)
B23- 438	東海道新幹線布設光ファイバーによるDAS計測データと加速度データの相関性	長谷川明紀(東海旅客鉄道)
B23- 444	光ケーブルDAS計測による高架橋の振動モード解析手法の一提案	高平良成(京都大学)
B23- 448	模型水槽を用いたバルジング抑制に対するダンパーの効果検証	藤田朋巳(中央大学)
B23- 521	制震装置の適用による境界条件の異なる送電鉄塔の耐震性向上	松本将之(香川高等専門学校)
B23- 557	段差防止構造に設置するゴム緩衝体の性能照査に関する検討	田邊琢(寒地土木研究所)

14:40-16:05	B24 <支承およびゴム材料>	座長: 豊岡亮洋(鉄道技術総合研究所)
B24- 488	低温環境下における高減衰ゴム支承の挙動のモデル化に関する提案	党紀(埼玉大学)
B24- 495	高減衰ゴム支承の低温環境下における挙動を踏まえた橋梁設計の提案	鍋島信幸(長大)
B24- 500	計測機構が異なる装置による天然ゴム支承のせん断剛性について	寺澤貴裕(寒地土木研究所)
B24- 529	高減衰ゴム支承の熱伝導を考慮した試験体寸法が復元力特性に及ぼす影響の検討	五十嵐晃(京都大学)
B24- 545	高耐久性すべり材を用いたシングル球面すべり支承の面圧依存性に着目した振動台実験	山口愛華(宇都宮大学)
B24- 546	一面せん断試験体のゴム材料と接着層に生じる各種応力の最大値位置に関する数値解析的検討	渡邊浩佑(東北学院大学)

16:20-17:45	B25 <微動>	座長: 西川隼人(福井工業大学)
B25- 420	2018年大阪府北部の地震における茨木市の建物被害分布と常時微動観測結果の対応関係	後藤浩之(京都大学)
B25- 470	令和6年能登半島地震により被害を受けた能登町鶴川地区における余震および微動観測	香川敬生(鳥取大学)
B25- 515	令和6年能登半島地震による被害地域一七尾市田鶴浜地区一における微動観測	野口竜也(鳥取大学)
B25- 525	活断層調査のための単点微動観測一西山断層西山区間の例一	吉見雅行(産業技術総合研究所)
B25- 544	七点二重正三角形アレイでの微動観測から高次モードの混在する振動数帯を識別する試み	木村春里(東京科学大学)
B25- 520	微動観測への水晶振動子を用いたMEMS加速度センサの適用性の検討	盛川仁(東京科学大学)

9月3日(水)

9:30-10:55	B31 <地盤震動・増幅特性>	座長: 坂井公俊(鉄道総合技術研究所)
B31- 440	成層地盤を対象とした数値創成解の設定方法に関する考察	月岡桂吾(鉄道総合技術研究所)
B31- 462	表層地盤増幅の簡便法による評価時の非線形特性の影響について	末富岩雄(エイト日本技術開発)
B31- 482	地盤条件の違いが地盤の不均質性による地表面地震動の変動に与える影響	坂井公俊(鉄道総合技術研究所)
B31- 549	表層地盤の特性が地震動に及ぼす影響一新潟県中越地域における地震応答特性一	西尾陽丸(長岡技術科学大学)
B31- 514	アイコナール方程式と集団に基づく最適化を用いた破壊伝播速度の推定法	谷内孝誠(清水建設)
B31- 498	高密度地震観測による地震波の伝播速度の評価	石田 航(神戸大学)

11:10-12:35	B32 <地震動評価・震源近傍の地震動>	座長: 若井淳(国土技術政策総合研究所)
B32- 442	指数関数型のすべり関数とそれを用いた半経験的波形合成法に関する一考察	小林剣大(東京科学大学)
B32- 422	地震動のウェーブレット解析に基づく経験的サイト増幅・位相特性評価に関する基礎的検討	杉山佑樹(鉄道総合技術研究所)
B32- 447	JR鷹取駅に設置された地震計位置の整理および経験的サイト増幅特性の評価	田中浩平(西日本旅客鉄道)
B32- 519	四国地方と周辺地域の地震観測点におけるサイト増幅特性の評価	西川隼人(福井工業大学)
B32- 434	複雑な断層すべりのベイズ推定とその2024年能登半島地震への適用	中尾魁(東京大学)
B32- 537	逆断層の動的破壊解析によるフリリングパルスの周期特性の考察	中辻綾香(京都大学)

13:45-15:10	B33 <地震動分析・設計地震動>	座長: 杉山佑樹(鉄道総合技術研究所)
B33- 468	振幅特性図を用いた震源域の強震動の比較	鈴木崇伸(東洋大学)
B33- 532	地震動推定手法の高精度化に向けた基礎的検討	若井淳(国土技術政策総合研究所)
B33- 552	地震動の工学的特性を考慮した類似性評価手法の検討	松野恵実(岐阜大学)
B33- 493	フーリエスペクトルを用いたPSHAで算出する設計入力地震動の位相の設定法に関する一考察	菅原法城(港湾空港技術研究所)
B33- 417	地震動時刻歴のガウス過程回帰	栗田哲史(東電設計)

15:25-16:50	B34 <地盤構造・地盤変動・ゾーニング>	座長: 野口竜也(鳥取大学)
B34- 494	載荷重による建設振動抑制効果	飛田哲男(関西大学)
B34- 512	津軽大橋付近の地下構造の推定	片岡俊一(弘前大学)
B34- 489	データベースアプローチによる設計地震動標準化に向けたボーリングデータの特徴量の検討	野田怜那(東北大学)
B34- 522	地震動の回帰式を用いた大分県での南海トラフ地震によるスロッシング現象発生の可能性のある地域の推定	三崎貴弘(大分大学)
B34- 539	航空レーザ計測データを用いた2024年能登半島地震による3次元地殻変動量の推定	山崎文雄(大崎総合研究所)

第45回地震工学研究発表会プログラム(C会場)

9月2日(火)

14:40-16:05	C24 <土の力学・動的特性>	座長: 中井健太郎(名古屋大学)
C24- 455	応力履歴の相違が液状化特性と土粒子構造に及ぼす影響評価	脇中康太(熊本高等専門学校)
C24- 485	締固め度の違いが礫質土の繰返しせん断に伴う沈下に及ぼす影響	藤曲広起(日本大学)
C24- 490	入力地震動の軌跡特性とエネルギーが砂地盤の非線形地震応答に及ぼす影響	浅見健斗(京都大学)
C24- 501	令和6年能登半島地震で生じた液状化に伴う噴砂の物理特性および基礎的力学特性の把握	松田拓也(宇都宮大学)
C24- 502	粒度分布を事前調整させた火山灰質粗粒土の繰返しせん断時における粒子破碎挙動	木梨翔太(宇都宮大学)
C24- 538	有効応力解析モデルパラメータの設定手法に関する基礎的検討	山本昌徳(鉄道総合技術研究所)

16:20-17:45	C25 <液状化現象>	座長: 脇中康太(熊本高等専門学校)
C25- 437	令和6年能登半島地震における内灘町西荒屋地区の地盤変位の定量化	齊藤竜也(長岡技術科学大学)
C25- 456	Numerical Simulation of Liquefaction-induced Lateral Flow of Gentle Slope Focusing on Relative Density and Permeability of Soils	Jianwei LUO(東京科学大学)
C25- 475	局所的な地表面勾配変化が緩傾斜地盤の液状化被害に与える影響	大橋俊介(京都大学)
C25- 550	令和6年能登半島地震による液状化発生日点の複数液状化判定法の比較	安達和希(長岡技術科学大学)
C25- 565	令和6年能登半島地震における液状化地盤の流動に対する砂丘切土の影響についての検討	青山翔吾(基礎地盤コンサルタンツ)

9月3日(水)

9:30-10:55	C31 <数値解析・実験>	座長: 加藤一紀(大林組)
C31- 460	液状化地盤上の盛土の地震時沈下量評価のための実験的検討	伊吹竜一(鉄道総合技術研究所)
C31- 472	洋上風車モノパイル式基礎の地震時液状化挙動に関する水中振動台実験	天野慎也(五洋建設)
C31- 524	開削トンネルの地震時表面力に着目したせん断土槽実験	高橋健生(中央大学)
C31- 527	APPLICABILITY OF SMOOTHED PARTICLE HYDRODYNAMICS (SPH)-BASED NUMERICAL ANALYSIS ON EARTHQUAKE-INDUCED PIPE DISPLACEMENT IN LIQUEFIED GROUND	Hyuk-kee HONG(Kansai University)
C31- 530	給水装置引込み部の耐震性評価のための基礎解析(第四報)	福島 充貴(建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究会)

11:10-12:35	C32 <地中構造物>	座長: 西岡英俊(中央大学)
C32- 414	動粘性係数をC, ϕ で定義したMPS法を用いた地震時滑り面解析手法の検討	津國正一(竹中土木)
C32- 427	鉄道盛土の危機耐性の評価法に関する一考察	土井達也(鉄道総合技術研究所)
C32- 441	令和6年能登半島地震における小屋ダムの2次元再現解析と現地調査結果との比較	久住晃平(国土技術政策総合研究所)
C32- 443	三次元動的解析による令和6年能登半島地震における小屋ダムの挙動の再現	下山顕治(ニュージェック)
C32- 483	熊本城内の石垣を対象とした3次元地層モデルによる2次元地震応答解析	橋本隆雄(国土館大学)

13:45-15:10	C33 <地盤・構造物の相互作用>	座長: 佐藤清(大林組)
C33- 418	トンネル横断方向の応答変位法 長年の地盤ばね問題への一つの解決糸口	志波由紀夫(無所属)
C33- 459	振動計測に基づくラーメン高架橋の入力損失効果の施工段階に応じた変化	前田翔太(鉄道総合技術研究所)
C33- 510	埋設管と地盤の斜め方向相対変位に対する地盤反力の数値解析的検討	平井菜月(鳥取大学)
C33- 558	凍結した表層地盤が群杭と地盤の相互作用の回転剛性に与える影響の評価手法	佐藤京(寒地土木研究所)
C33- 566	開削トンネルの応答変位法に用いる地盤反力係数の設定に関する一考察	島田貴文(HRC研究所)

15:25-16:50	C34 <地中構造物>	座長: 長谷川延広(東京電機大)
C34- 415	地中構造物の耐震評価における三次元静的構造解析の荷重設定の影響について	刑部圭祐(鹿島建設)
C34- 419	耐震壁を有する地中構造物横断面の地震時解析手法に関する検討	坂下克之(大成建設)
C34- 432	原子力発電所敷地内の地中構造物と周辺建屋を対象とした3次元地震応答解析の検討	大塚悠一(東電設計)
C34- 435	複数地盤モデルの有限要素解析による埋設管の耐震性評価	今田耕太郎(東京ガス)
C34- 477	DInSAR解析による2024年能登半島地震における埋設管被害の検討	江口毅(山口大学)

第45回地震工学研究発表会プログラム(D会場)

9月2日(火)

13:00-14:25	D23 <津波防災>	座長: 原田賢治(静岡大学)
D23- 503	緩衝材による津波作用の低減に関する動的荷重係数分析による検討	渡辺高志(構造計画研究所)
D23- 517	周辺構造物配置の津波波力の方向特性への影響に関する基礎的検討	斎藤諒太(京都大学)
D23- 463	水理模型実験を用いた地すべり津波の発生メカニズムの解明と数値シミュレーションモデルの妥当性評価	澤野将吾(防衛大学校)
D23- 491	原子力発電所近傍の沿岸地形の特徴量を考慮した津波高さの評価体系の提案	西愛歩(東電設計)
D23- 430	MULTI-RISK ASSESSMENT OF EARTHQUAKE AND TSUNAMI UNDER THE NANKAI TROUGH EARTHQUAKE SCENARIOS	Yuyu JIAO(Gifu University)
14:40-16:05	D24 <災害情報・防災計画①>	座長: 鍛田泰子(神戸大学)
D24- 424	緊急地震速報による予測震度の尤度関数の構築	熊野颯(岐阜大学)
D24- 449	鉄道乗車中人員を対象とした緊急地震速報の猶予時間の評価	森永昇梧(岐阜大学)
D24- 413	被災後の地域復興における祭祀の役割	大角恒雄(防災科学技術研究所)
D24- 479	中山間地域集落における災害時自活力の評価	近藤伸也(宇都宮大学)
D24- 467	防災力向上に向けた地域イベントの分析	小田部奎介(宇都宮大学)
16:20-17:45	D25 <防災計画②・リスクマネジメント>	座長: 能島暢呂(岐阜大学)
D25- 445	スマートフォンGPSデータを用いた災害後 人流変化の分析手法 —輪島市における来訪者のコホート分類と 類型化の試み	竹永靖(北陸先端科学技術大学院大学)
D25- 560	熊本地震と能登半島地震に基づくベイズ統計モデリングによる避難者数予測モデルの構築	井上雅志(エイト日本技術開発)
D25- 547	津波からの避難開始における論理的判断と直感的判断の関係を考慮した避難行動解析	高橋佑介(アジア航測)
D25- 436	防災ワークショップ参加者の防災意識の変化 —子ども, 保護者, ファシリテーターの比較—	保田真理(東北大学)
D25- 492	災害応急対応時における官民連携の課題構造と意志決定支援に関する基礎的研究	福田勝仁(国土技術研究センター)
D25- 559	マルチエージェントシミュレーションを用いた災害廃棄物処理戦略の検討	荻田祥英(香川大学)

9月3日(水)

9:30-10:55	D31 <ライフライン防災①>	座長: 松崎裕(東京科学大学)
D31- 542	つくば地域における3次元地盤・地質情報の 広域地震応答評価への適用性に関する検討	飯山かほり(鹿島建設)
D31- 429	南海トラフ地震の断層モデルの多様性を考慮した交通ネットワークのリスク評価	堀江恭暉(岐阜大学)
D31- 464	道路ネットワークの災害時連結性を位相的データ解析により評価する試み	岡田大輝(京都大学)
D31- 554	地震動強度指標の違いが道路橋ネットワークの接続性の評価結果に与える影響	松崎裕(東京科学大学)
D31- 465	地震時の土砂災害による道路被害を考慮した被害予測モデルと復旧日数算出モデルの提案 : 令和6年能登半島地震を題材とした試み	小林昌輝(宇都宮大学)
11:10-12:35	D32 <ライフライン防災②>	座長: 後藤浩之(京都大学)
D32- 450	液状化抵抗率の可視化とその空間補間法に関する一検討	樋口匡輝(大林組)
D32- 507	地震時液状化による配水管と下水道管きよの被害箇所の空間的相関	尾高瑞季(神戸大学)
D32- 423	被災配水管路網における被害発生率・地震動強度・脆弱性の分析	土屋裕(岐阜大学)
D32- 499	2024年能登半島地震における石川県内灘町の推定地盤変位と上水道管路の被害分析	苅米和樹(千葉大学)
D32- 523	ペルー国リマにおける複数地震シナリオ下の下水道埋設管路網に対する被害推定	小南雄暉(筑波大学)